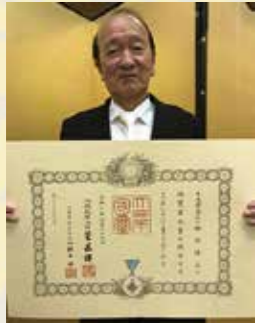


叙勲受章

長年にわたる職務に対する功労や社会貢献をたたえる叙勲などを受章されました方をご紹介します。

瑞宝単光章



勝瑞博文さん
(池田町サラダ)

昭和60年4月、池田町消防団団員を拝命以来36年の永きにわたり消防業務に精励し、消防の任務をよく守り、平素よく率先垂範して消防の使命達成に尽瘁されました。また、団員の信望も厚く、人格円満で指導力に富み、指揮者としても尽力されました。



花開け 白く美しく

三縄小・馬路小 サギソウを植栽
三好市の花「サギソウ」を守るため、黒沢湿原のサギソウ園で6月3日、三縄小学校と馬路小学校の児童20名がサギソウを植え付けました。

これは阿波池田ライオンズクラブが奉仕活動として毎年続けているもので、今年で21回目となります。児童らは2月から育ててきた400株の苗を、一つ一つ植え付けました。

三縄小学校4年生の大山由奈さんは「大きくきれいに育てて欲しい。花が咲いたら家族で見に来たい」と声を弾ませていました。



郷土の歴史と文化を再発見 井川中学校が辻町探検

井川中学校の1・2年生が6月24日に辻町探検を行いました。

江戸時代から明治時代にかけて、刻みたばこ産業で栄えた辻町には、歴史や文化が色濃く残されています。辻のまち歩きガイドの説明を受けながら、班ごとに各所を巡り、自然や歴史を学びました。刻みたばこ工場主67名が1万円(現在の約3億円)を教育基金として寄付したことで教育の町として知られるようになったなど身近なお話も伺えました。今年度から支給されたタブレットを利用して、ガイドの説明を記録に残しました。



廃校にかつての校歌が響く 皆谷尚美さん 思い出コンサート

徳島県内を中心に活躍するシンガーソングライターの皆谷尚美さんを迎え、旧馬場小学校のウマバスケットコートで6月27日、思い出コンサートが開催されました。

会場では感染症対策として席の間隔を大きく取っていたものの、多くの観客で満席の賑わいとなりました。「ふるさと」や「茶摘み」などの唱歌のほか、廃校となった馬場小学校の懐かしい校歌も披露されました。

訪れた観客の一人、大谷京子さんは馬場小学校の卒業生で「母校が廃校になって寂しく思っていたのですが、校歌が聞けて感動しました。久しぶりにふるさとが賑わって嬉しい」と話してくれました。

100歳おめでとうございます



森本 美代子さん
(池田町シンマチ)

6月25日、池田町の森本美代子さんが満100歳を迎えられ、県や市から祝状などが贈られました。

池田町で生まれ、25歳で結婚された森本さんは3男4女を育てられました。趣味は裁縫で、90歳くらいまではミシンを使って自分の洋服も直されていたようです。真面目な性格で人付き合いを大切にされている森本さん。4年前から入所されている高齢者施設でも、職員や入居者との交流を楽しんでいらっやいます。これからもお元気でお過ごしください。



県職員ら 街並みを美しく 「ごみゼロ週間」 清掃活動

6月1日に徳島県西部総合県民局では「拾った私は、ごみを捨てない」を合い言葉に池田市街地の清掃活動を行いました。この活動は、とくしま環境県民会議が主催する「ごみゼロの日」や「ごみゼロ週間」を県民の皆さんに広く周知し、ごみのポイ捨て防止や環境美化の取り組みの促進を目標としています。

西部の県民局各庁舎で同時に行われ、三好庁舎と三好保健所から約60人の職員がごみ袋を手にし、道路周辺の清掃に取り組みました。

おもしろいことや耳より情報など、身近なまちのニュースがありましたら教えてください。



人権教育の発展に力を尽くす 功労者表彰を受賞されました

人権(同和)教育・啓発推進に対する顕著な功労を讃えられ、湯藤章皓さん(池田町サラダ)が徳島県人権教育研究協議会より功労者表彰を受賞しました。

湯藤さんは、平成18年度発足の三好市人権教育推進協議会初代会長に就任、13年間にわたり同役職を務められ、人権教育講師として市内の団体・企業等で研修会講師を務めるなど、人権教育の発展に大きく貢献されました。

秘書人事課 ☎ 72-7646



守って活かす 私たちの宝物 三好市の文化財を学ぶ

三好市文化財講座が、6月25日、中央公民館で開講されました。

第1講目のこの日は、「ふるさとのため」をテーマとした講義がおこなわれ、46名が受講しました。

三好市に大切に残された国指定の文化財の紹介や、文化財として評価されるポイントなどを笑いを交えながら話され受講者は真剣に聞き入っていました。

講師の下川清氏は、「市民の関心が高いことが分かった。文化財の保護と活用について理解を深め、次世代への継承につなげたい」と語りました。



ふるさとの味を直行便で 全国へ三好の逸品をお届け

豊かな自然に育まれた特産品を通じて三好市の魅力を知ってもらおうと、6月18日、ふるさと小包の発送作業が池田総合体育館で行われました。

今年はコロナウイルス感染拡大の影響を受け、帰郷が困難な方などに対して三好市を懐かしんでもらおうと、30%のプレミアムを付加した小包とし、事前に申し込みのあった三好市出身者などに向け、545個のふるさと小包を発送しました。10月にも、秋の味覚を詰め込んだ三好の逸品小包を発送する予定となっています。



吉野川に笑い声満ちる 西井川小・辻小が自然体験活動

6月25日、西井川小学校と辻小学校の5・6年生が自然体験活動を行いました。コロナ禍により少年自然の家での宿泊訓練ができず、山城町のWest Westでラフティングやツリートレッキングを体験しました。

班ごとに力を合わせて助け合うチームビルディングもあり、学校ではできない貴重な体験でした。途中、他の利用者になどに大きな声で挨拶するなど、子どもたちの明るい声が響きました。地元にある素晴らしい自然にも気づき、毎年体験したいと笑顔で話していました。